校友時報

第45号
発行所
秋田県立能代高等学校
新聞部　電話　254番
編集人　高橋義一
印刷人　大勝堂印刷所

校舎増築工事竣工す

総工費は三百八十八万圓

本校待望の校舎増築問題は、昨年九月始め県当局、PTA、同窓会各位の御尽力に依り漸やく着工の運び図画、書道展を始め新聞、となり、以後工事は着々進行し、十一月下旬には竣工予定のところ理科教室の設備工事など特殊工事は今年度に持ち越され、十二月二十五日一応県への引き渡しも済ませ、二月六日には同内部工事も完工されるに至り、結局建坪総計百七坪、総工費三百八十八万円で図画、音楽、理科の三特別教室が完成された。尚その竣育の完璧を期する為に特別工式が八日午後一時から県教室が必要なことは論を俟会議長、同窓会々長、父兄たちが、本校は先年の罹各位、生徒参列のもとに本災後の復旧が思うに委せな校講堂で行われた。

この日に因んで記念祝賀祭が催され、美術部主催の科設備工事が完成したので担金が要したのであります庫の一部や階段の下で、薄これを御負担下された事も本増築が順調に進んだ一因でした。特に青森県岩崎村並に深浦町御当局は進んで御協力を申出て下され、又市内各工場、会社、特に木材工場からも多分の御協賛を得たことを改めて厚く感謝する次第です。

校舎は立派に増築されましたが、このほどその結果が本県の最高は七八点（男）、六四点（女）である。

本校の場合は受験者数一二八、八、本県平均は二四五九で一般に受験者は多く平均二九、〇八（卒業生二八、六五）最高六八点の成績である。

尚参考までに県内二、三の高校の成績を掲載する。

▼秋田高校
平均　三四、八〇
最高　七六、六〇

▼横手美入野高校
平均　二七、九一
最高　七八、〇〇

▼大館鳳鳴高校
平均　二六、六五
最高　六八、〇〇

▼秋田北高校
平均　二五、九五
最高　六二、六〇

尚能代工業高校でも電気工事が完成したので担金が要したのでありますが、関係各市町村は欣然と暗く、時には入口の戸さえ

祝辞

PTA会長　西村節朗

待望久しかつた本校特別教室三教室の増築が目出度く完成したことを心から御祝い致します。高等学校教育の完璧を期する為に特別教室までは手が届かず、従つて教師並に生徒諸君は非常な不便を忍び乍ら勉学をして来たのでこの点はPTAと私達の払つたささやかな努力は、生徒諸君がこれに依つて発揮される学習効果に依つてのみ報いられる物であることを銘記して頑張つて下さい。

御協力頂いた各位に対し厚く謝意を表すると共に生徒諸君の御努力を期待して祝辞に代えた次第です。

加した入学希望者に副うため、収容力を無視した数の入学生を収容し続けて来た。今度はこれを利用さ査は昨年十一月十日行われ下廻つている。

それによると全国平均は文部省より発表された。

適進

成績は昨年より低下

最高六八点

昭和廿八年度進学適性検査は昨年度よりなつたが、成績は昨年度よりも、一部の不心得者の為に、

説論「伝統について」

伝統―。それは古くてもれよう。又文化面に於いて新しくても、一応学校といは辯論、新聞などがそれう形態をとつているところには、善かれ悪しかれ必ずある。そしてそれらの伝統の一つ一つが驚くほどの根強さを持つている。

去年の九月廿三日で創立第二十八周年を迎えた本校にも、いわゆる能中と呼ばれた時代からの伝統があるに本校の伝統中先ず最初に挙げるのは体操である。次に体操ほど全国的ではないがてい硬式野球、排球等があげら

校舎の汚いことも又、名物である。ほこりつぽく、何の装飾もない学校……。そ

昔にもなろうとしているのるであろう。我々は一部不

聞

是非部室を！

漸く木の香も新らしい教室の装飾もない学校……。そ

部室についてもつと考慮してもよいのではないでしよう。

もし、明るい部屋に夏は風通しがよく、冬は暖をとり器具類の棚を備え、練習着

ば又部員の憩いの場所ともスポーツに励む者に！

無い。冬季になれば尚不便なるでしよう。更衣室（そだろうと思います。掃除中んな物どこにあるという人の教室のストーブのそばでもあろう）もお粗末な物で身仕度をしたり、練習着を干したりしているのを見かけますが、体育の標準校である本校ではこれでは息苦しい程です。

新しく設けられないなら、せめて手を加えてそれに近い物に工夫出来ないものでしようか。私は先に云つた慾という語を取消しましよう。慾ではありません。ぜひ必要なものです。

明るくて衛生的な部室を！

新年度

委員長選挙は二月廿二日

選挙方法は新會則で

新会則により来年度の第一期正副委員長選挙は今学期中に行われることになり選挙管理委員会で協議の結果左のように日程が決つた。

A候補者が三名以上の時
1、告示　二月八日(月)
2、締切　二月十五日(月)
3、抱負発表　二月二十二日(月)

B候補者が三名に満たぬ時
1、ホーム選出　二月十六日(火)
2、五名選出　二月十八日(木)
3、抱負発表(正)二月廿二日(月)
4、選挙(正)二月廿二日
5、抱負発表(副)二月廿三日
6、選挙(副)二月廿三日

※これは正副委員長選挙に関する細則の第四条イ項(31)の「第一期は前年度に行い、一、二年の全員の投票により……」第四条二ノ八項「第一期は三学期終了一ケ月前とする」に依つて行われるもので、正副委員長を各々別々に選挙する。

予餞会日程決まる

一月十二日第一回生徒委員会が十六番教室で行われ予餞会の件、帽子の白線の件、美術部分割の件などが議題としてとりあげられ、結局予餞会は二月十七日午後一時より約三時間と予定し、準備、進行等については、生徒委員の中から各係を決定し、それらの係に白線の件は、同委員会として取上げ審議する必要なしと認め、提案は否決された。

美術部分割願いは、同部長より提案理由の説明後審議に入り採決の結果、同提案は否決された。

同窓会定時総会行わる

本年度同窓会定時総会は去る八日本校で開かれ、会員四十名が出席、本年度より入会金を五十円引上げ、二百円にすること等を決議した。

予餞会は二月十七日午後一時より約三時間と予定し、まあ一段落ついたというところ　一方三年生は受験を控えて最後の仕上げ係を決定し、それらの係に余念がない。▼このころ一任させることに決定したになるとそろ〳〵各部の送別会が行われる。もう冬休み、土曜、月曜を利用して終つたところも大分あるようだ。▼試みに会費の制高校の成績を掲載する。

▼秋田高校

▼何故にこんなに負担が重いのか？それは卒業生とは別に先輩を招待するからだといゝ、又去年もそうだつたし、今年もそれ位の負担は仕方がないといつた因習的な考え方をする者が多いようだ。▼負担が高いといつて不参加も出来ぬというので自然無理が生ずる。実際あまりよい傾向とはいえない。だからといつて送別会をやめろ、先輩は絶対招くなというのではない。▼要するに在校生の個人負担があまりに高過ぎるということ、無理をする必要はないということである。後のことも考えてこゝらでこんな風習は破棄して貰いたいものだ。そしてそれがどんなに些やかなものであつてもいつたことではないが）あくまで我々に相応しいものでありたいものだ。

編集余談

延び〳〵になつていた校舎増築竣工式も終え、今度新しい教室が使用出来る……と云つても、もう三学期もなかば過ぎ、生徒会の方は新年度委員長選挙もこの廿二日予定しており、あとは「剣道部一承認の問題を残し、まあ一段落ついたというところ　一方三年生は受験を控えて最後の仕上げ係を決定し、それらの係に余念がない。▼このころ一任させることに決定したになるとそろ〳〵各部の送別会が行われる。もう冬休み、土曜、月曜を利用して終つたところも大分あるようだ。▼試みに会費の制高校の成績を掲載する。